※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００１

令和５年度 農業科

教科	農業	科目	果樹	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「果樹」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

果樹の栽培管理の入門科目。2 コマ連続の授業の中で座学と実習を織り交ぜながら、果樹の分類や生理など学問的内容を学び、果樹園で栽培している 10 種以上の果樹の 1 年間の生育サイクルや栽培管理を実践的に学んでいく。入門的な位置づけなのでまずは果樹の枝葉を見ての同定から始める。次第に摘果など専門的な栽培管理を実践的に学ぶ。

2　学習の到達目標

a：果樹の特性や果樹栽培に関する作業目的や基本的な知識を習得させる。
b：果樹の栽培と果樹園の経営に必要な知識と技術を理解させるとともに、生産性の向上を図る能力と自身で考え適切な行動に繋げられる判断力や表現力を身に着けさせる。
c：各種果樹の栽培を体験させることで、それぞれの作業の意義や役割を理解させ、果樹経営に関する興味付けを行い課題や目的意識を持つことが出来る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・果樹の栽培管理に必要な基本的知識（各果樹の生育・生理、結果習性、樹木の枝の構造、枝の種類・特性)を身に付けている。 ・各果樹の栽培管理作業の目的や意味を関連付け、理解した上で、作業する技能を身に付けている。	①栽培管理の方法とその目的を関連付けて思考を深めている。 ②実習において自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むとともに、各栽培管理方法とその目的、技術について探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	果樹の種類と果実の利用	果樹園の案内(各果樹の解説)、果樹の観察・スケッチ	a:果樹の枝葉からの同定テスト b:特徴をとらえたスケッチ(枝、葉および花)を描けている。各果樹の解説のキーワードをメモし、自分なりにまとめたり、調べたりしてモノを実習ノートに記録している。 c: 主体的に学習に取り組もうとしている。	実技テスト・定期考査	実習ノート	授業観察
		果樹の定義、分類、品種、起源	a:知識を身につけているか。 b: c:問いかけなどに対する反応	小テスト、定期考査		授業観察
	果樹の栽培管理	果樹の栽培管理(芽かき、摘果、摘粒、袋掛け、夏季剪定副梢取りなど)	a: 各栽培管理作業において、作業の意味を理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 b:作業内容などをまとめ、必要に応じて調べた内容をノートに記録しているか。 c:果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	定期考査	実習ノート	授業観察
		各種果樹の特徴(ビワ、ブドウ、ウメ、ナシ)	a:各果樹の起源、学名、生育特性、品種、生産都道府県などの知識を身につけているか。 b: c:問いかけなどに対する反応	定期考査、小テスト		授業観察

※令和４年度以降入学生用

2	果樹の栽培管理	果樹の栽培管理(摘果、礼肥収穫、販売など)	a:各栽培管理作業において、作業の意味を理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 b:作業内容などをまとめ、必要に応じて調べた内容をノートに記録しているか。 c：果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	定期考査	実習ノート	授業観察
		各種果樹の特徴(イチジク、クリ、カキ、ウンシュウミカン、ミカン)	a:各果樹の起源、学名、生育特性、品種、生産都道府県などの知識を身につけているか。 b: c:問いかけなどに対する反応	定期考査、小テスト		授業観察
	果樹栽培の動向	日本および世界の果樹生産、流通	a:生産と消費、輸入と輸出、栽培と自然栽培などの知識を身につけているか。 b: c:問いかけなどに対する反応	定期考査、小テスト		授業観察
	果樹栽培と環境	土壌構造、栄養素(肥料成分)	a:土壌表面の管理、化学的性質と生育、物理的性質、有機物と無機物などの知識を身につけているか。 b: c:問いかけなどに対する反応	定期考査、小テスト		授業観察
3	果樹の栽培管理	果樹の栽培管理(寒肥、ブドウやイチジクの剪定、カンキツの剪定)	a:各栽培管理作業において、作業の意味を理解し、基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 b:作業内容などをまとめ、必要に応じて調べた内容をノートに記録しているか。 c：果樹の栽培管理について興味・関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。次に自分が何をするべきか適切に判断、行動している。	定期考査	実習ノート	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度